



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月12日

上場会社名 土木管理総合試験所
コード番号 6171 URL <http://www.dksiken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下平 雄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 掛川 明彦

TEL 026-293-5677

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,037	18.1	295	112.3	298	102.3	187	141.1
29年12月期第3四半期	3,418		139		147		77	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	13.47	13.40
29年12月期第3四半期	6.28	6.26

(注) 当社は、平成28年12月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,120	3,890	76.0
29年12月期	3,977	2,978	74.8

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,890百万円 29年12月期 2,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		3.75		3.75	7.50
30年12月期		3.75			
30年12月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	6.2	360	15.0	357	16.1	235	24.8	18.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	14,843,600 株	29年12月期	13,343,600 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	407,200 株	29年12月期	407,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	13,929,807 株	29年12月期3Q	12,394,144 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 四半期財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期貸借対照表	2
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,804	1,417,394
受取手形及び売掛金	831,108	798,052
商品	348	13,867
仕掛品	288,427	267,555
貯蔵品	16,651	15,809
その他	34,235	49,654
貸倒引当金	△4,459	△3,372
流動資産合計	2,156,116	2,558,961
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	643,601	1,015,868
土地	378,174	418,169
その他	399,087	438,190
有形固定資産合計	1,420,863	1,872,228
無形固定資産		
投資その他の資産	21,031	42,161
投資有価証券	281,372	541,595
その他	99,541	106,309
貸倒引当金	△1,124	△1,067
投資その他の資産合計	379,788	646,837
固定資産合計	1,821,683	2,561,227
資産合計	3,977,800	5,120,189
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,873	147,212
リース債務	55,740	53,919
未払金	271,285	244,701
未払法人税等	41,069	72,961
賞与引当金	—	64,888
工事損失引当金	5,035	5,267
その他	172,188	308,304
流動負債合計	680,192	897,256
固定負債		
リース債務	93,929	92,958
退職給付引当金	217,214	232,253
その他	7,640	7,553
固定負債合計	318,784	332,765
負債合計	998,976	1,230,021

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,493	1,181,261
資本剰余金	714,991	1,131,759
利益剰余金	1,508,623	1,593,568
自己株式	△24,047	△24,047
株主資本合計	2,964,061	3,882,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,112	7,625
評価・換算差額等合計	10,112	7,625
新株予約権	4,650	—
純資産合計	2,978,823	3,890,167
負債純資産合計	3,977,800	5,120,189

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,418,454	4,037,107
売上原価	2,326,288	2,756,646
売上総利益	1,092,166	1,280,461
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	404,778	425,673
賞与引当金繰入額	20,308	24,293
退職給付費用	8,004	7,698
貸倒引当金繰入額	△1,140	△935
その他	521,064	528,295
販売費及び一般管理費合計	953,015	985,025
営業利益	139,150	295,435
営業外収益		
受取利息	1,394	1,565
受取配当金	3,332	1,074
受取出向料	3,450	—
受取保険金	2,660	2,738
その他	2,399	6,982
営業外収益合計	13,236	12,361
営業外費用		
支払利息	1,304	1,101
業務受託費用	1,424	557
株式交付費	—	4,235
デリバティブ評価損	1,520	210
その他	851	3,666
営業外費用合計	5,100	9,770
経常利益	147,286	298,025
特別利益		
補助金収入	34,252	—
特別利益合計	34,252	—
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	28,484	—
特別損失合計	28,484	—
税引前四半期純利益	153,053	298,025
法人税等	75,241	110,432
四半期純利益	77,812	187,593

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ416,767千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が1,181,261千円、資本剰余金が1,131,759千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書 計上額 (注) 3
	試験総合 サービス 事業	地盤補強 サービス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,115,395	261,729	3,377,125	41,329	3,418,454	—	3,418,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,115,395	261,729	3,377,125	41,329	3,418,454	—	3,418,454
セグメント利益又は 損失(△)	533,341	7,524	540,865	△11,509	529,355	△390,205	139,150

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機器販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△390,205千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書 計上額 (注) 3
	試験総合 サービス 事業	地盤補強 サービス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,666,064	344,528	4,010,593	26,513	4,037,107	—	4,037,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,666,064	344,528	4,010,593	26,513	4,037,107	—	4,037,107
セグメント利益	667,123	25,455	692,579	4,082	696,661	△401,226	295,435

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機器販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△401,226千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合（株式会社アイ・エス・ピー）

当社は、平成30年10月13日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社アイ・エス・ピーの株式を取得し、子会社化することについて決議し、平成30年10月15日に同社株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社アイ・エス・ピー

事業の内容：土木測量設計プログラムパッケージの開発、販売

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社アイ・エス・ピーが所有する土木測量設計におけるプログラム等のソフト開発技術は、当社の生産性の向上やワンストップサービスの拡充等、更なる進化が期待できるものであり、技術交流することで高いシナジー効果を得られるものと考えております。本件株式取得により、当社の持続的成長、企業価値の向上に資するものと考えております。

(3) 企業結合日

平成30年10月15日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社アイ・エス・ピー

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が株式会社アイ・エス・ピーを取得したため、当社を取得企業としております。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金による支出	100,000千円
取得原価		100,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等	22,000千円
--------------	----------

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。